

令和元年度 第1四半期（2019年4月～6月）景況動向調査結果

十和田商工会議所 中小企業相談所

1. 調査対象

(1)対象企業数 十和田商工会議所会員 25 事業所

内訳:建設業、製造業、卸売業、小売業、サービス業 各 5 事業所

(2)回答企業数 有効回答=23 事業所(回答率 92%)

2. 調査対象期間

今期=2019年4月～6月

- ・前年同月比=前年同期(2018年4月～6月)と比べた今期の状況
- ・前期比=前期(2019年1月～3月)と比べた今期の状況
- ・先行き見通し=今期と比べた来期(2019年7月～9月)の見通し

3. 調査期間 2019年6月17日～6月28日

4. 表示方法

本報告書中の「DI」とは、「ディフュージョン・インデックス、景気指数」の略で、各項目について、「上昇・増加」と回答した企業の割合から「下降・減少」と回答した企業の割合を引いた数値である。

DI値が0より上の場合=景気は上向き

DI値が0の場合 =景気は横ばい

DI値が0より下の場合=景気は下向き

5. 調査項目ごとの状況

(1) 業況DI

業況DIの現況判断は▲26.0で、業種別にみると「卸売業」が0.2で最も高く、「サービス業」が▲19.8で続いている。

先行きは横ばいの▲26.0で、業種別では「建設業」で改善し、「製造業」「卸売業」で悪化となっている。

図表1 業況DI

	2019年 1～3月期 (今回調査)		2019年 4～6月期 (今回調査)		2019年 7～9月期 (先行き)	
		前期比		前期比		今期比
全産業	▲24.9	↗	▲26.0	↘	▲26.0	→
建設業	▲40.0	→	▲60.0	↘	▲20.0	↗
製造業	▲19.8	↗	▲20.0	↘	▲40.0	↘
卸売業	0.0	→	0.2	↗	▲19.8	↘
小売業	▲39.8	↘	▲33.0	↗	▲33.0	→
サービス業	▲20.0	↗	▲19.8	↗	▲19.8	→
(参考)全国全産業	▲16.9	↘	▲18.3	↘	▲19.5	↘
(参考)東北全産業	▲22.7	↗	▲27.7	↘	▲23.9	↗

※(参考)は日本商工会議所LOBO調査の値を参照

DI = (好転の回答割合) - (悪化の回答割合)

(2) 売上高DI

売上高DIの現況判断は▲26.0で、業種別にみると「小売業」が0.3で最も高く、「サービス業」が0.0で続いている。

先行きは4.3p改善の▲21.7で、業種別では「建設業」「卸売業」で改善し、その他の業種で減少となっている。

図表2 売上高DI

	2019年 1～3月期 (今回調査)		2019年 4～6月期 (今回調査)		2019年 7～9月期 (先行き)	
		前期比		前期比		今期比
全産業	▲20.7	↗	▲26.0	↘	▲21.7	↗
建設業	▲40.0	↗	▲80.0	↘	▲20.0	↗
製造業	▲19.8	↗	▲20.0	↘	▲40.0	↘
卸売業	0.3	↗	▲19.8	↘	0.2	↗
小売業	▲19.8	↗	0.3	↗	▲33.0	↘
サービス業	▲19.8	→	0.0	↗	▲20.0	↘
(参考)全国全産業	▲10.4	↘	▲11.9	↘	▲11.3	↗

※(参考)は日本商工会議所LOBO調査の値を参照

DI = (増加の回答割合) - (減少の回答割合)

(3) 採算DI

採算DIの現況判断は▲17.3で、業種別にみると「サービス業」が0.2で最も高く、「卸売業」が▲19.8で続いている。

先行きは4.4p悪化の▲21.7で、業種別では「建設業」で改善し、「製造業」「サービス業」で悪化となっている。

図表3 採算DI

	2019年 1～3月期 (今回調査)		2019年 4～6月期 (今回調査)		2019年 7～9月期 (先行き)	
		前期比		前期比		今期比
全産業	▲33.2	↗	▲17.3	↗	▲21.7	↘
建設業	▲20.0	↗	▲20.0	→	0.0	↗
製造業	▲19.8	↗	▲20.0	↘	▲60.0	↘
卸売業	0.3	↗	▲19.8	↘	▲19.8	→
小売業	▲39.8	↘	▲33.0	↗	▲33.0	→
サービス業	▲40.0	↘	0.2	↗	0.0	↘
(参考)全国全産業	▲15.7	↘	▲18.1	↘	▲16.0	↗

※(参考)は日本商工会議所LOBO調査の値を参照

DI = (好転の回答割合) - (悪化の回答割合)

(4) 資金繰りDI

資金繰りDIの現況判断は▲8.6で、業種別にみると「サービス業」が0.2で最も高く、「建設業」「小売業」が0.0で続いている。

先行きは8.7p悪化の▲17.3で、業種別では「建設業」「卸売業」「小売業」で横ばい、「製造業」「サービス業」で悪化となっている。

図表4 資金繰りDI

	2019年 1～3月期 (今回調査)		2019年 4～6月期 (今回調査)		2019年 7～9月期 (先行き)	
		前期比		前期比		今期比
全産業	▲8.3	↗	▲8.6	↘	▲17.3	↘
建設業	▲19.8	→	0.0	↗	0.0	→
製造業	0.0	↗	▲20.0	↘	▲40.0	↘
卸売業	0.0	→	▲19.8	↘	▲19.8	→
小売業	▲20.0	↘	0.0	↗	0.0	→
サービス業	0.0	↗	0.2	↗	▲20.0	↘
(参考)全国全産業	▲10.4	↘	▲9.6	↗	▲11.2	↘

※(参考)は日本商工会議所LOBO調査の値を参照

DI = (好転の回答割合) - (悪化の回答割合)

(5) 仕入単価DI

資金繰りDIの現況判断は▲47.8で、業種別にみると「建設業」「サービス業」が▲20.0で最も高く、「小売業」が▲33.3で続いている。

先行きは横ばいの▲47.8で、業種別では「小売業」で改善、「製造業」で悪化となっている。

図表5 仕入単価DI

	2019年 1～3月期 (今回調査)		2019年 4～6月期 (今回調査)		2019年 7～9月期 (先行き)	
		前期比		前期比		今期比
全産業	▲50.0	↘	▲47.8	↗	▲47.8	→
建設業	▲40.0	↘	▲20.0	↗	▲20.0	→
製造業	▲40.0	→	▲80.0	↘	▲100.0	↘
卸売業	▲100.0	↘	▲80.0	↗	▲80.0	→
小売業	▲40.0	↗	▲33.3	↗	0.0	↗
サービス業	▲40.0	→	▲20.0	↗	▲20.0	→
(参考)全国全産業	▲40.6	↘	▲40.7	↘	▲36.3	↗

※(参考)は日本商工会議所LOBO調査の値を参照

DI = (下落の回答割合) - (上昇の回答割合)

(6) 従業員DI

従業員DIの現況判断は0.2で、前期から横ばい。業種別にみると「小売業」でやや人手不足感が強まっている。

先行きはほぼ横ばいの0.3で、「サービス業」でやや人手不足感が強まっている。

図表6 従業員DI

	2019年 1～3月期 (今回調査)		2019年 4～6月期 (今回調査)		2019年 7～9月期 (先行き)	
		前期比		前期比		今期比
全産業	0.2	↘	0.2	→	0.3	↗
建設業	0.2	→	0.2	→	0.2	→
製造業	0.0	↘	0.0	→	0.0	→
卸売業	0.3	↘	0.2	↘	0.2	→
小売業	0.0	↘	0.3	↗	0.3	→
サービス業	0.6	↘	0.4	↘	0.6	↗
(参考)全国全産業	25.5	↘	22.8	↘	24.6	↗

※(参考)は日本商工会議所LOBO調査の値を参照

DI = (不足の回答割合) - (過剰の回答割合)

6. 業況感等に関する自由記述

コメント	業種
建設業の人手不足、後継者不足が工事の受注に大きな影響を与えている。	建設業
仕入等原価上昇の影響あり。	卸売業
人手不足により、新しいイベント等ができず、顧客満足度の低下につながるのではないかと危惧している。	サービス業